

科目名: 所得税法		科目コード	EB59
科目主査: 宮地 昌之		単位	4
担当講師: 宮地 昌之		配当年次	3・4
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	カテ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> 不要
<p>本科目では、所得税法についての本格的な学習をスタートする方々を対象に、所得税法の基礎から、所得の区分、所得の計算、所得税額の計算までを体系的に学習します。 所得税法の基本事項をしっかりと理解したうえで、判例などの発展的な学習を段階的に進めることで、法律全体の構造を体系的に理解することができるようになります。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
履修の前提となる知識 その他特記事項	<p>テキストを熟読し、重要語句を中心に事前学習し、わからない点や自信のない点があったら、マーキングして質問できるように準備してください。事前に租税法概論について知識を深めておくことを推奨します。</p>		
テキスト	『スタンダード所得税法 第2版』佐藤 英明, 弘文堂, 2016年		
この科目の到達目標	<p>①所得税の基本事項(税法用語など)および所得税額算出手順を理解できる。 ②所得分類における各種所得の意義、範囲、課税方法を理解でき、所得税額計算ができる。</p>		
成績評価の方法	<p>授業態度を重視し、授業時間中の集中度合いを評価対象とします。また、休み時間後の遅刻は、減点の対象とします。事前確認テストは評価の対象にはしませんが、白紙答案等、やる気がないと感じられる場合は減点します。最終試験は、○×問題、穴埋め問題、計算問題を出题します。その上で、科目の到達目標の到達度合いを勘案して総合的に評価します。授業をきちんと聞き、重要な点はノートにまとめてください。</p>		
事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習した内容を復習し、再度テキストをよく読み、理解を深めること。 ・学習した知識を活用して実際に所得税額を計算することで、計算過程を理解すること。 ・新聞やインターネットなどに掲載される所得税に関する記事に関心を持つこと。 		
事後学習の参考文献	<p>『図解所得税』松崎 啓介(編), (財)大蔵財務協会 『所得税 確定申告の手引』田名後 正範(編著), 税務研究会出版局 インターネット:「国税庁ホームページ」 https://www.nta.go.jp/</p>		
<p>スクーリング受講時に用意するもの <input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 電卓</p>			